

# 昔がたり (四)

あ ざ み

運動場の菓物は皆私達の所得であつた。桃でも枇杷でも栗でも柿でもお昼の休に遠慮なく頂戴する。一番おもしろいのは栗と椎の實である。栗は皆で棒切れを持ってさがすがおもしろい。椎は降る様に落ちる時もあるが、其頃宿直専門の三毛さんといふおぢいさんが、みんなの授業時間にせつせと拾つてしまふ。其上みんなの拾つてゐる時まで出て来て、邪魔をする。椎の實には「またたび」の分子でもは入つてゐるのかしらん、いやに椎の實でうき身をやつす三毛さんだ。といつて、てんでに自分達の事は棚にあげて、おこつてゐた。或時私達二三人がおくれて運動場へ出ると例のとほり向ふの方に三毛さんがせなかを丸くしてあさつてゐる。と思ひがけずこちらの方から外國先生が。「何處へゆく？又椎の實であらう、澤山ある處を教へてやるからこちらへおいで」といつてとん

でもない方へつれてゆく。不思議に思ひながらそれでもついてゆくと、三毛さんのお宿のその額ほどの庭の内には入る。見るとそこに物干棹に籠がついてあつて其中に、拾ひも拾つたり、ためもためたり、一ぱい椎の實がほしてある。先生はいきなり大きな手に一握り、サアといつて私達にくれる。二人で一寸は顔を見合せたものゝ、三毛さんに對する敵愾心が絶頂に達してゐた時とて、遂にたもとをあける。先生は「大きなポケットだと笑ひながらいくらでもつかんで皆の袂へ平等に入れて呉れた。皆はすぐに小使部屋へ行つて大きな灰ふるひで煎り椎の實をこしらへて控室全體に御馳走をした。其翌日二三人で三毛さんの處へ探險に行つたら、籠の底に少し斗りの椎の實がさびしさうにかたまつてゐた。そして庭には細いなわ糸が十文字に張られ紙切れがすき間なくさげてあ

つて四ツ目垣には妙な形の案山子がたててあつた。「とんだからすだつた」といつて皆で笑つてゐたら、三毛さんが出てきてその案山子がをかしいのかと思つて一處になつて笑つた。何だか少しきのどくになつた。今、十數年後の今日此處にこれをぎんげして、何處にゐるかわからない三毛さんにあやまつておく。』

ずつと初めに私達が世話斗やかせてゐた生徒掛の先生は時々オルガンをひいたりしてゐた。そして自分はどうしてこう體がうすべつたのか(ただやせてゐるのではない)といつてよく氣にしてゐた。上の級の人が「ナーニ先生なんぞそんなでもありません、此間ウエブスターの間から出てきた蜘蛛なんぞは先生處ではないそれはそれはうすく、ぺっちゃんこでした」といつてなぐさめてゐた。この先生は私達が桃などたべてゐると「皆さん御馳走もいゝけれどあまりすぎるとおハラがいたくなりますよ」といつても親切にいつてくれた。その次には若い先生でよく茶色の洋服をきてゐた。その次は切り下げの先生、この先生はよく禮記のお講義をしてゐた。又そ

の次が又別の切り下げの先生、この切り下げ先生第二世の時に、初めて運動場にテニスコートが出来た。皆で一生懸命してゐるとその先生が「皆さん、ガントンスですか私も入れて下さいな」といつて出てくる、そして昔取つたきねづかだか何だか、なぎなたの様にラケットをかまへてヤツといつて玉をすくひあげる。玉はしばらく行衛を失つて、敵の陣はさておき何處へも落ちたけはひはない。先生はしきりと胴々めぐりをして玉のなりゆきを氣にしてゐる。玉は高く高く雲に入つたのであるが、やがて勢つきてやうやくストンとおちる但しとんでもない處へである。先生はこんどはうまくして見ますといひくくしてゐるけれどいつまでたつても「ヤツ—スポン　の胴々めぐりで」ある。或時二人の男の人がついまぎれて女の方のコートでしてゐた、この先生はお役目によつて窓から首を出して「お釜さん、かちぐりさん、一寸この窓の下へ来る事であります」といつた。二人は何事かと命のまゝにその場處へかけつける。と「あなた方は男にお生れになつたばかりで、此處でなさるのはわるい事といはれます

からいまに女におなりなすつたらね」とか何とか至極圓曲に小言をいつてゐた。

本科に入つて三年たつたら卒業した。肩揚げをとつて大人になつた。それでもやはり前と同じく何もかも授業をうけてゐた。ハルモニーは和製の英語で筆記をしてゐた。よく先生が I does not know.だの、I have wrote. だのといつてからかつた。先生だつて「みかん、きもの、さよなら」だの「船、さらんぼん、拝見提燈」だのと仰つたではありませんかとまげずにいつた。

(みかんきもの云々はみかんの皮をむく事、船、さらんぼん云々は「船のこはれるのを見るあかり」即燈台の事の由)

【入力者注】底本と行を合せるために、フォントサイズを小さくしたり半角スペースを挿入した箇所があります。

底本…東京音楽学校校友会「音楽」第二卷第九号

明治四十四(1911)年九月十日発行

筆名…あざみ

入力…小林 徹

公開…令和四(2022)年十一月五日

橘糸重【[散文作品集](#)】に戻る。